

2013 年度海外研修旅行「デンマーク研修レポート」

3月24日（月）

中部国際空港を出発し、コペンハーゲン空港にてロンドンコースの皆さんと分かれ、デンマークコースは研修先のボーゲンセに向かいました。



中部国際空港出発前

3月25日（火）

午前：デンマークについて講義

研修受け入れ先である日欧文化交流学院の創設者千葉さんから、デンマークについて、ディスカッションスタイルの講義を受けました。学生たちは様々な意見を出し合い、充実した講義となりました。



千葉さんから講義を受ける学生たち

午後：保育ママ（Lise Frederiksen さん）訪問とオーデンセ観光

保育ママとは、未就園児を5人までを一つの家庭で預かるデンマーク独自のシステムです。入園に向けての支援が目的で、男女関係なく保育ママになることができます。今回は2歳10ヶ月までの子どもを朝6時～16時まで預かっている保育ママ Lise Frederiksen さんのお宅を訪問し、保育ママ制度についてや、どのように保育を行っているかなどを教えてくださいました。

その後、グリム童話の作者アンデルセンの生家があることで有名なオーデンセを観光しました。



アンデルセンの生家周辺の雰囲気ある街並み。



保育ママ Lise さんのお宅には子どもが遊べるおもちゃがいっぱいでした。



保育ママの Lise さん（写真一番右）と学生たち

3月26日（水）

午前：特別支援幼稚園（Solsikken）

特別支援幼稚園は、幼稚園と療育施設が一体となったような施設です。特別支援幼稚園では、子ども一人ひとりの発達の度合いが異なるため、年齢によるクラス分けを行っていません。今回訪問した特別支援幼稚園では、ペダゴグ（保育士）の他、理学・作業療法士もおり、子どもにトレーニングを行うこともあるそうです。また、日本の幼稚園での音楽活動はピアノが主流ですが、デンマークではギターが主流だそうです。



特別支援幼稚園の室内遊具。

午後：「キャプテン農場」幼稚園(Kaptajngården)

キャプテン農場という名前の幼稚園を訪問しました。名前のとおり農場を併設した幼稚園で、鶏・豚・羊を飼育し、最後には食肉として食べることで、命の大切さと食の成り立ちを学びます。園児の親御さんとの関係を大切にし、食肉として育てた鶏・豚・羊を解体する際は、親御さんと一緒に行い、皆で料理をしていただくそうです。



農場幼稚園で飼われている羊たち

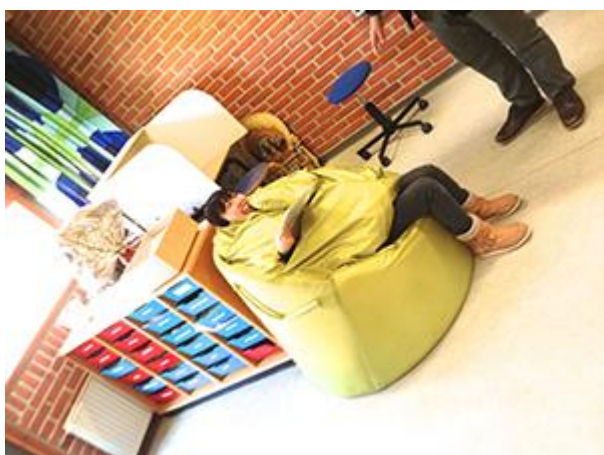


子どもたちも使えるよう工夫されたキッチンです。

3月27日(木)

午前：国民学校 (Søndersøskole)

0年生～10年生まである国民学校の見学をしました。生徒一人ひとりが自由なスタイルで授業を受けてよいと、皆が決まった形の机や椅子を使って学ぶことはなく、一人ひとりが好きなテーブル・椅子を選べます。授業での子どもたちは、自由に意見を述べてのびのびと学んでいました。



こんな椅子で授業を受けることもできます！

午後：ペダゴー大学(Lillebælt univ.)

ペダゴーはデンマーク語で保育者という意味です。ペダゴー大学は、デンマークの保育者を養成する大学です。今回訪問した大学は、実習に力を入れており、幼稚園・特別支援・薬物依存している子どもの施設などで3回実習を行います。また、併設されている幼稚園では、ペダゴー（保育者）は、子どもたちの遊びに直接介入せず見守ることで、子どもたちが自分たちだけで遊べるようになるのを促す教育を行っています。



遊具を作るペダゴアの卵たち

3月28日（金）

午前：特別支援学校(Skrillingskole)

生徒 100 人弱の特別支援学校を訪問しました。年齢別のクラス分けではなく、障害や発達の程度に応じたクラス分けで、一人ひとりの個人支援を重視しています。ペダゴー（保育士）だけでなく、作業・理学療法士も教育者として生徒の学習面・生活面を支援しています。



体育の授業風景

午後：コペンハーゲン観光。



絵画や写真で一度は見たことある風景ですね！